

JUST NOW JATS

CHALLENGE FOR THE FUTURE

1.3.5.7.9月発行

2018

44

May

CONTENTS

- みんなでとったぞ IF、2020年 評議員選挙について、..... 1面
- 日本胸部外科女性医師の会、女性医師の立場から HPお知らせ、サマースクール告知 2面
- 第2回理事会ニュース 3面
- 第72回日本食道学会学術集会、第71回学術集会情報、ネクタイ販売、編集後記 4面

みんなとったぞ インパクトファクター (IF)

GTCSの取り組み GTCS編集委員長 大北 裕

General Thoracic and Cardiovascular Surgery (GTCS) は日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会のOfficial Journal、日本心臓血管外科学会のAffiliated Journalです

本年3月始めにClarivate Analytics社(旧Thomson Reuters社)から2016年の論文からScience Citation Index ExpandというデータベースにGTCSがIndexされると通知がありました。2015年12月にIF申請を行い、2年3ヶ月経過後の吉報です。通常であれば来年(2019年)リリースされるIF 2018(2016-2017出版論文が分母)から適用になります。しかし、IFの予備段階的なデータベースであるEmerging Sources Citation IndexにはGTCSは2015年からIndexされているため、現在、2018年発表のIF 2017(2015-2016出版論文が分母)でつく可能性があるかどうか問い合わせ中です。また、具体的なIFの数値については、当方にはまだ知らされていません。

これも皆様がGTCS充実のため、論文作成、査読などに払われたご努力の賜物と感謝しています。しかしながら、喜んでばかり居られません。国内外にはGTCSのIFを遙かに超えるjournal(図1、2)が目白押しです。GTCSにとって、今回のIF獲得は、初めてスタートラインに就いたにすぎません。初めて“我らのjournal”が国際舞台に立つ準備が出来ました。今後はこれらの強力な競争相手と鎗を削らねばなりません。また、従来ならば一旦獲得したIFは安泰であったのが、定期的な見直し制度の開始も噂されています。

編集方針は従来と何ら変わることがありません。IF計算の分母である総論文数を減らし、引用頻度の高いoriginal article、reviewを増やし、case reportを絞っています。この結果、original articleのaccept率が約50%、case reportが30%前後です。GTCSとしては質の高いoriginal article、reviewのご投稿を歓迎し

ます。また、学術集会における招請講演、卒後セミナーでの演者の先生方へお願いですが、是非ともinvited review articleとして、GTCSにご投稿下さい。この一環として、“Controversies in Thoracic Aortic Aneurysm Surgery”をテーマとして、国内外の著名な先生方に執筆を依頼し、GTCSでの発刊を今年中に予定しています。次の企画として一方、原発性肺癌の特集号を企画しています。

繰り返してお呼びしていますが、すでにインパクトファクターを取得している雑誌”(J Thorac Cardiovasc Surg、Ann Thorac Surg、Eur J Cardiothorac Surg、Circulation、Cir J、J Art Orgなど)に論文を投稿される際には、2016年、2017年発行のGTCSに掲載されている論文を引用してください。心臓、呼吸器、食道各領域の分野別の2016、2017年論文リストはGTCSホームページに掲載します。引用頻度の高い本学会学術委員会の学術調査報告書(Annual report)もフリーアクセスとなっています。現在2015年度の集計結果を鋭意作成中です、もうしばらくお待ちください。

従来と違って今年からは、GTCS論文を引用すると、GTCS IFに寄与します。注意

図1 Domestic Journal; IF 2016



出典：Journal Citation Reports

図2 International competitors; 2016 IF



出典：Journal Citation Reports

が必要なのは、沢山のGTCS論文を引用しすぎると、self-quotation checkに抵触します。また、2015年以前のGTCS論文を引用されても2018年以降のIFには反映されません。2016年、2017年のGTCS

論文引用をお願いします。

会員諸兄のご協力を以て、今回、GTCSがIFを獲得出来たこと、誠に欣慶至極です。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

2020年 評議員選挙について

今後、評議員の立候補を予定されている皆様へ！ 必須条件が追加されます。詳細はホームページをご覧ください。

必須条件	2020年 評議員選挙の対象	方法
GTCS投稿歴(共著含)	4年に1回 2016年2月1日～2020年1月31日までの投稿	Editorial ManagerのManuscript Number (GTCS-D-から始まる論文固有の番号)

なお、以下については2016年度 評議員選挙から適応されています。こちらも併せてご注意ください。

必須条件	2020年 評議員選挙の対象	方法
学術集会参加者アンケート回答	4年に1回 2016年第69回(岡山)～ 2019年第72回学術集会(京都)の回答	会員ページからWEB回答



日本胸部外科女性医師の会 (WTS in Japan)

第12回日本胸部外科女性医師の会 開催報告 神吉 佐智子

本会は、2006年に故野尻知里先生（当時テルモハート社）とDr. Andrea J. Carpenter (University of Texas) をお招きして第1回会合を開催して以来、毎年胸部外科学会会期中に情報共有と会員交流を行ってまいりました。第12回目となる本会は、日本胸部外科学会と日本医師会の共催のもと、第70回定期学術集会にあわせ2017年9月28日午前7時30分から9時まで開催し、総勢19名のみなさまにご参加いただきました。今回の特別講演は、心臓血管外科医として活躍のDr. Ourania Preventza (Baylor College of Medicine) に「Status of women in Cardiothoracic Surgery in the US: where we are and where we are heading」と題したお話をいただき、第2部としてテーマを「胸部外科医はかつていい！—先生方の‘かつていい’お話をお聞かせください」としてディスカッサントに本学会会員で食道外科でご専門の平松昌子先生（高槻赤十字病院）にご参加いただきました。

アメリカにおける胸部外科領域の女性

医師の歴史は20世紀前半に遡り、初めて開心術を行った女性医師はDr. Myra A. Loganといわれています。その後1961年に、自身が開発した人工弁で僧帽弁置換術を行ったことで有名なDr. Nina S. Braunwaldが女性として初めて米国胸部外科学会専門医として登録され、1986年にアメリカ胸部外科女性医師の会（WTS）が設立、2015年までに274名の女性医師が専門医を取得するに至りました。現在、医学部学生の50%が女性で、外科系レジデントのうち22%が女性ですが、専門医を取得する女性は6%と少なく、責任ある指導的地位に在任するメンターやロールモデルが極端に少ないことが原因の一つと考えられます。Dr. Preventzaは、「指導的地位につけない原因が交渉力の欠如と考えるのは、誰もが持っているUnconscious biasでしかなく、女性がより良い人生を歩む上で、仕事、自覚、Work-life balance、能力に見合った報酬、経営・指導への参入などがまだ十分に整備されていないのは周知のことです。当面の解決策としては、男性の



理解と援助が必要だということを男性にも理解してもらい、一定以上の指導的地位の女性医師を増やすことが重要です。」と力をこめて訴えられました。また、多様化 (Diversity) は、少数派を受け入れること (Inclusion) から始まり、少数派はグループを作ることが大切だということもありました。その後のディスカッションでは、平松先生から日本の女性外科医師の増加状況とご自身が立ち上げられた「消化器外科女性医師の活躍を応援する会 (AEGIS-Women)」を魅力的な公式ビデオ (英語版) とともにご紹介いただきました。平松先生は、ディスカッションを通じてAEGIS-Womenのサポーターとして複数名の男性医師に参加していただいていることの重要性を強調されました。今回は臨床研修医や医学部学生も混えて、限られた時間でしたが意義深い意見交換が行えました。なお、ご講演

内容や会合での写真などは、WTS in Japanのホームページ内「2017年 活動報告書」に掲載しておりますので是非ご覧ください。

これまで女性医師の会では、胸部外科で女性医師が働き続けるための方策を模索してきました。Dr. Preventzaのお話にもあったように、少数派でグループを作ることの意義は、グループとしての意見をまとめて執行部に要望を出すことだと思います。そのためには一人でも多くの先生方に会合に参加していただきたく、参加しやすい時間帯に会合を開催することも必要ではないかと考えています。また、ホームページを活用して、会員のみならず、胸部外科に興味のある若手女性医師や医学生のみなさまに対しても情報発信を行っていきたくと考えていますので、引き続き温かいご支援とご指導をお願いいたします。

女性医師の立場から

女性呼吸器外科医として思うこと

やる気のある人達が気兼ねなく外科系進路を選択できるよう、その基盤の一員として自分も頑張っていければ

女性呼吸器外科医として何か書いてみませんか、とのお誘いがありこのたび投稿させていただくこととなりました。胸部外科のエキスパートの方々が掲載されるなか大変恐縮しておりますが、同時に大変嬉しく思っております。

私は、現在、千葉県がんセンター呼吸器外科で勤務しております。11歳と5歳の娘二人を育てながらであり、夫の他に子供達の面倒をみる者がいないため大学医局や同僚の先生方のご厚意のもと日勤のみの勤務とさせていただいております。勤務中は時間ギリギリまで仕事を頑

張り、家に帰れば食事などはコンビニ・ファミレス大活用の超手抜き育児の毎日です。しかし、日々の仕事にやりがいを感じ、続けさせていただいていることに大変感謝しております。

普段、呼吸器外科の仕事自体が女性に不向きだとはあまり感じませんし、自分の知っている女性呼吸器外科医の先生方は皆それぞれ活躍しています。しかし、私自身は、やはり時間に制約あることに困難さを感じています。二回の出産前後の長期休暇時は、同僚をはじめ大学医局・同門の多くの先生方に多大なるご尽

力をいただきました。現在も、長時間手術や担当症例の夜間急変時などは同僚の先生方にカバーしていただき、さらに、私の担当の手術開始時間を早めたりカンファレンスは日勤帯に行ったりと様々なご協力をいただいております。

呼吸器外科医の仕事は一人ひとりの責任が大変重く、休むと周囲に大きな負担がか

かります。先日、外科系進路も考えているという女子医学生と話す機会がありましたが、呼吸器外科に興味はあるが、出産・子育てで周囲に負担がかかることを考えるとなかなか踏み切れないとのことでした。長期休暇取得時の他医師への負担の軽減のためには人材確保が重要です。今後もやる気のある人達が気兼ねなく外科系進路を選択できるよう、その基盤の一員として自分も頑張っていければと、日々願っております。

松井 由紀子
所属施設：千葉県がんセンター 呼吸器外科
卒業大学：千葉大学

簡単な経歴：

1995年4月 千葉大学医学部肺病研究施設第一臨床研究部門（現：千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学）に入局、千葉大学医学部付属病院等で研修
2003年3月 千葉大学大学院医学研究科修了、その後、国保松戸市立病院、国立病院機構千葉東病院勤務を経て、2009年4月より千葉県がんセンター呼吸器外科に勤務。

趣味：ピアノ演奏
好きな言葉：三日、三月、三年



日本胸部外科女性医師の会 WTS in Japan Women in Thoracic Surgery in Japan

ホームページリニューアルのお知らせ

このたび、ウェブサイトを全面的にリニューアルいたしました。情報をより分かりやすくお伝えできるウェブサイトとなるよう、レイアウトやデザインを改善いたしました。これまでの講演内容やJATS Newsletter「女性医師の立場から」のバックナンバーも掲載しています。会員の皆様のみならず、胸部外科に興味のある若手女性医師の皆様にも本サイトをご紹介いただければ幸いです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

<http://wtsjapan.umin.jp/>

スマートフォン・携帯電話でQRコードを読み取ってください▶



今年も開催します！

(2018年4月3日現在 予定)

呼吸器外科サマースクール 肺の手術にトライしてみよう

2018
7/7(土)・8(日)

【会場】神戸医療機器開発センター (MEDDEC)
ニチイ学館ポートアイランドセンター

心臓血管外科サマースクール この夏、君は心臓血管外科の魅力と出会う！

2018
8/18(土)・19(日)

【会場】テルモメディカルプラネックス

参加申込など詳細は日本呼吸器外科学会、日本心臓血管外科学会、当会のHPをご覧ください。



1. 各種委員会報告及び審議事項

(1) 理事会

審議事項

1) 外科関連学会協議会からの依頼事項：日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針及び研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針

1月末日までに意見提出を求められており、役員及び委員に意見を求めた結果が報告された。現時点での意見としては、学会誌への応募も当てはめるのか、ビデオ・恒久的に残るような演題についてはどうなるのか、一般病院と特定機能病院では異なるのか、データベースを利用した報告はカテゴリーAでよいか、などである。本会からの要求は、大学病院だけでなく中小病院も倫理委員会にアクセスできるようなシステムを持つ、つまり大学病院と連携する態勢を整えるようにする中小病院も倫理委員会にアクセスできるように大学病院と連携する、個別にどのカテゴリーに該当するのかわからないのでQ&Aを掲載の2点である。最終的には、もう少し意見を収集して、日本外科学会に理事長名で回答することとした。

2) 革新的な人工心臓弁の適切な評価と早期保険導入の要望書について

本会と日本心臓血管外科学会との連名で厚生労働大臣宛の要望書提出について、承認した。

報告事項

1) 地方会のあり方委員会からの心臓血管外科専門医認定機構への要望

本会地方会での参加を心臓血管外科専門医更新申請時のクレジットに付与する件を心臓血管外科専門医認定機構に提出した。0.5単位のクレジットとして2度まで有効、2018年の地方会から該当し、2019年の更新申請から適用することが承認されたことが報告された。なお、呼吸器外科専門医合同委員会にも同様の依頼文書を提出予定である。

2) 我が国における臓器移植の体制整備と再生医療の推進

学術会議からの上記をホームページに掲載し、評議員へメール送信を行った。

3) 先天性心疾患の成人への移行医療に関する提言
成人先天性心疾患の横断的検討委員からの提言を、ホームページに掲載した。

(2) 総合将来計画委員会

法人格の変更についてNPO法人設立運営センターから、NPO法人・社団・財団法人格についての説明(移行の際の問題点や税制等)があり、質疑応答を行った。引き続きの検討事項とする。

報告事項：委員会での中間報告がなされた。

1) 学術集会開催形態について

呼吸器外科医・食道外科医にとって、より「親近感と魅力のある」学術集会にしていける必要があるとの方針を確認し、分野別会長制度を検討している。統括会長1名、統括会長担当分野以外の会長2名でいずれも公選とする予定である。

2) 正会員制度について

正会員の意義・あり方、廃止に伴う問題点(評議員制度の変更、学会費の減少となるため評議員の会費を増額するのか)も含めて検討する。

3) 理事、監事の定数及び任期について

次回委員会で検討する。

4) 日本胸部外科学会教育施設協議会について

協議会の中でアンケート調査を実施中で、結果を報告いただく予定である。

5) 評議員選挙、理事選挙について

分野別投票の是非について検討する。

(3) 専門医制度委員会

報告事項

1) 外科学会専門医制度委員会

外科専門医の横断的なサブスペシャルティ領域の扱いは消化器内視鏡、感染症、臨床腫瘍が承認され、消化器病は保留。新専門医制度では一次登録で外科系では772名の応募があり、地域偏在は認められない、指導医講習は将来的には追加する予定である。

2) 心臓血管外科専門医認定機構

今後は80点以上を合格、過去問題集の発行により新規公開問題の掲載を廃止、コアカリキュラム委員会新委員の承認、医療安全講習会受講証明書偽造の発覚により処分を実施、新カリキュラム整備基準(案)を作成中、機構委員交代、本会地方会参加を更新申請時にクレジットとする件を承認した。

3) 呼吸器外科専門医合同委員会

呼吸器外科専門医認定試験結果(合格ラインは55点、合格者は73人、合格率は79.35%)、本年の試験日程(2018年11月2日実施予定)、記述式問題



の出題廃止、専門医申請時の助手数は呼吸器外科学会理事会にて審議、専門医申請オンラインシステムの仕様変更などが報告された。

4) 食道外科専門医(丹黒理事)

昨年度の食道外科専門医は21名の合格者であったことが報告された。

(4) 選挙管理委員会

1月16日で締め切った立候補者数が報告された。北海道地区と東北地区は選挙なしである。2月15日までに候補者名簿の作成、3月15日投票締切、3月19日委員長と副委員長で開票の立ち会いを行う。

(5) 推薦評議員候補者選考委員会

3月29日理事会前に委員会を開催し、推薦評議員10名と欠員数を加えた人数を選出予定である。

(6) 会誌編集委員会

1) 論文投稿・掲載状況

2017年投稿数287編、Accept 130編、Accept率はOriginal 45%、Case 29.5%、Acceptまでの平均所要期間は改訂があった場合は65.9日、AcceptからOF掲載18日。冊子掲載Original 120日、Case 369日、掲載状況・掲載総数は137編である。

2) 70周年記念誌発行

杏林舎との委託業務契約書及び覚書を交わしたことで、依頼原稿の締切日が1月12日であるので催促の依頼、画像提供依頼の準備をしていることが報告された。

3) GTCS special issue発行

呼吸器関係のSpecial issue「Diagnosis and treatment for early stage non-small cell lung cancer」を予定していることが報告された。心臓血管関係の「大動脈」は作成中であり、今年中に発行予定である。

(7) 学術委員会

1) Annual report 2015について

呼吸器と食道領域は既に調査が完了しており、報告書作成を依頼予定である。心臓領域は、一部の項目データについて最終確認中であり、報告書は前委員長に依頼する。

2) Annual report 2016について

呼吸器領域は集計完了済み、食道領域は未回答施設に催促を依頼中である。心臓領域は2015年の調査の修正点をふまえ、JCVSDに改修がどの程度の規模になるかを確認中である。

3) Annual reportの今後の方向性に関する検討の継続

NCDデータから学術調査項目に沿う形で出力を可能にする。心臓分野では出力項目に関するWGを組織し検討予定である。食道分野に関しても、NCDデータから自動集計しやすい学術調査に改変するようチームを作り進めていく予定である。2015年の調査結果は未発表であるが、70周年記念誌の「局所進行肺癌に対する拡大手術：隣接臓器合併切除」の中に数値を入れることが報告され、承認された。

(8) 学術集会委員会

審議事項

1) 学術集会時の本会及び他団体が関係する委員会等の開催費用分担のルール

本会理事会・委員会は原則として会長負担。心臓血管外科手術データベース機構関連の会場費は本会負担とするが、人件費や飲食代は除く。呼吸器外科専門医合同委員会も会場費があった場合は本会負担とする。女性医師の会は、日本医師会からの助成金を充当する。

2) ハンズオンに関して

研究・教員委員会でも検討されているが、体外循環技術セミナーやウェットラボ・ハンズオンセミナー等の少人数のものは開催しない方向が承認された。

報告事項

1) 第70回学術集会(札幌) アンケート結果

回答率20%以上と例年より高く、概ねよかったとの感想が多かった。本年度のアンケートから学術集会不参加の方もアンケートに回答できるようにする。

2) プログラム構成の検討

会長以外の分野別責任者の肩書きは公募でなく、本委員会決定とする。

3) 2018年度外国人名誉会員

名誉会員候補者の具体的基準を、今後検討する。

4) 学術集会マニュアル

外国人招請演者の接遇費の上限を設定する方向とする。

5) トラベルグラント

Asian fellowship応募者への対応は国際委員会と協力し進める。学術集会において採択されたアジア各国の若手外科医を対象に助成金(1人10万円、10人まで)を支出する。なお、国際委員会が規定(案)を作成しているが、学術集会演題登録システムを利用するため、会長と相談の上、進める。

6) 第71回学術集会

参加者を促進するに当たって事前参加登録システムの導入について検討した結果、採用が導入された。会員の事前登録15,000円、当日登録18,000円、非会員(医師・企業)の事前登録20,000円、当日参加25,000円

メディカルスタッフは事前も当日も5,000円、研修医・医学部学生は事前も当日も無料とする。

報告事項

1) Premier Abstract セッション(仮称)

従来のプレナリーセッションは実施せず、領域ごとに最優秀演題を選出し、Premier Abstract セッション(仮称)を行う。

2) 3領域合同シンポジウム

今回は臨床的なテーマではなくDeveloping Academic Surgeonとし、指導医講習のクレジットをつけてもらう方向で、内容は荻野理事と相談する。

3) 呼吸器・食道のサブ会長の名称

学術集会委員会で検討する。

4) 各種委員会開催時間

胸部外科学会関連を優先し、それ以外は会場費を徴収する。日程表が提出され、委員会はなるべくなら委員会推奨時間に開催するよう要望があった。Post Graduate CourseのAdvancedコース最終日は時間を短縮して、理事会としては2時間とする方向とする。

5) ハンズオンセミナー

企業から申し出があった場合は行うが、ウェットラボ・ハンズオンセミナー・体外循環技術セミナーは開催しない方向とする。

6) 一般演題カテゴリーの整備

会長一任で今後の叩き台となるようなカテゴリー分類を作成する。

(9) 倫理・安全管理委員会

審議事項

1) 外科関連学会協議会からの依頼事項：日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針及び研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針

(1) 理事会報告事項1)に記載の通り。

2) TAVR関連学会協議会からの実施医・指導医制度及びライブガイドライン

TAVR関連学会協議会から実施医・指導医及びTAVR専門施設・指導施設基準に関する認定基準(案)、ライブ手術ガイドライン(案)についての本会からのコメント依頼の文書が送付されたので審議した。その結果、案は承認された。

報告事項

1) 医療事故調査外部委員派遣依頼があり、3名の委員を派遣予定である。

2) 心臓血管外科ライブ手術届け出2件を受理

(10) 診療問題委員会

平成30年度診療報酬改訂に当たって、本会が主学会として提案した胸腔鏡補助下弁膜症手術、胸腔鏡下弁形成術(ロボット手術)等が認められたことが報告された。

また、他学会が主学会として提案したインドシアニングリーンを用いた周術期冠動脈バイパス手術、肺悪性腫瘍手術(肺葉切除 ロボット支援)、縦隔腫瘍摘出術(ロボット支援)なども認められたことが報告された。

胸腔鏡補助下弁膜症手術について厚生労働省から早急に回答依頼があり、検討の結果、弁置換術及び弁形成術とも2弁とすることで承認された。胸腔鏡下弁形成術と弁置換術の定義及び内視鏡手術用支援機器施設基に関しては、4学会(本会、心臓血管外科学会、ロボット心臓手術関連学会協議会、日本低侵襲心臓手術学会)でアドホック委員会を立ち上げて、1月中に対応する。

(11) 研究・教育委員会

報告事項

1) JATS Academy

心臓血管外科に続いて呼吸器外科も各分野ごとに

当委員会委員をリーダーとするdomainメンバーを設置すべく、伊達 洋至先生を委員に追加した。手術ビデオコーナーは第70回で行われたSurgical Technique Sessionを皮切りに、掲載に相応しいビデオをdomainメンバーも加えて、各分野で検討中である。予算は相見積もりを取った結果、50万円承認されている。

2) 日本胸部外科学会研究助成

12月25日締切で、臨床研究助成は6件、若手胸部外科医研究助成21件の応募があり、今後委員会にて一次選考を行う予定である。支援を表明している企業は10社で3月末日までに200万円の予算を達成すべく努力中である。

3) 学会主導全国規模調査研究

心臓血管外科+食道外科で一次性・二次性大動脈食道瘻の治療成績、進行性食道癌に対するステントグラフト治療の2つを企画中である。

4) Postgraduate Course

EACTSから呼吸器外科コースにPeter Licht先生、AATSから心臓血管外科コースにJoseph Woo先生を招請することが報告された。

5) サマースクール

心臓血管外科サマースクール決算報告書が報告され、承認された。

(12) 広報(Homepage・Internet)委員会

副委員長を心肺食の3分野とするため、委員を変更したことが承認された。

報告事項

1) 成人先天性心疾患の横断的検討委員会の「先天性心疾患の成人への移行医療に関する提言」を学会ホームページに掲載した。

2) プレスリリースは2015年学術調査結果を待って実施予定である。

(13) 総務・渉外委員会

2017年度謝金等のマイナンバーの情報収集を行った。

(14) 定款改訂委員会

総合将来計画委員会から答申がだされれば、検討する。

(15) 臓器移植委員会

心臓移植関連学会協議会では新規施設の審査中、肺移植関連学会協議会ではLung allocation systemの導入を厚生労働省へ要望すべく準備中、日本学術会議提言「我が国における臓器移植の体制整備と再生医療の推進」を評議員へ送付したことなどが報告された。

(16) 処遇改善委員会

胸部外科に特化したアンケートを前向きに検討する。

(17) 国際委員会

報告事項

1) 2018年度フェローシップについて

2018年度フェローシップ(心2名、肺2名、食1名)、2018年度JATS/AATS Graham Foundation Fellowship(心：後天性2名、肺1名)の募集開始、今後のスケジュールについて報告された。

2) 2017年度フェローシップ受賞者について

帰国後、所定の報告書と留学施設から発行された修了証書を提出、定期学術集会総会にて報告、またNewsletterに執筆をお願いする。

3) アジアトラベリングフェローシップ

第71回定期学術集会において抄録を採択されたアジア各国の外科医を対象に1人10万円(参加費無料)で10名に助成する予定である。

(18) 地方会のあり方委員会

昨年8月に3,000円の会費値上げのアンケートを実施したところ、地方会会員でない人の反対が多かったため、上げ幅を下げた案 1) 2,000円の値上げで総額1,600万円の地方会助成金 2) この地方会助成金の分配方法(会員の人数割)について委員会で持ち回り審議を行ったところ、関東地区の委員以外からは賛成の回答があったことが報告され、今後の進め方について検討した。継続審議事項とする。

(19) J-MACS委員会

Intermacs Registry Joins the STS National Databaseで報告、平成30年度J-MACS予算が報告された。

2. 2018年度委員会委員名簿

前回理事会後に変更になった委員会委員が報告され、承認された。

3. その他

体外循環技術認定士及び人工心臓管理技術士の活動報告書が提出された。

4. 2018年度理事会スケジュール

第5回日程が8月27日(月)から8月30日(木)に変更になったことが報告された。

守・破・離 (しゅ・は・り)

第72回日本食道学会学術集会の開催にあたり

加藤 広行 第72回日本食道学会学術集会会長／福島県立医科大学・特任教授

日本胸部外科学会員の皆様、平素より大変お世話になり衷心より御礼申し上げます。福島県立医科大学 特任教授の加藤広行でございます。

このたび、第72回日本食道学会学術集会を平成30(2018)年6月28日(木)、29日(金)の両日、栃木県宇都宮市にあるホテル東日本宇都宮で開催させていただきましたことになりました。歴史と伝統のある本学会の会長を務めさせていただき、責任の重さに身の引き締まる思いであります。理事長の松原久裕先生をはじめ、名誉会長、名誉会員、理事、評議員の先

生方に衷心より厚く御礼申し上げます。

本学会は、昭和40(1965)年に食道疾患研究会として設立し平成15(2003)年より学会に移行し、平成27(2015)年に50周年を迎えております。現在は内科、外科、放射線科の臨床医学と、病理学や生理学の基礎医学などの多領域に亘る医師が参画する横断的な学会となっております。そして多くの先人達のご尽力ならびにご業績により、診療ガイドラインや診療指針を発刊し、医療水準の均てん化を図るとともに世界トップレベルの治療成果を誇っております。

さて、今回のテーマは、「守・破・離(しゅ・は・り)」とさせていただきます。

「守・破・離」とは、茶道や武道などの日本古来の『道』文化が発展、成熟していく過程で広く語り継がれてきた言葉であります。この語源

は諸説ありますが、茶人・千利休が、茶道の心得や作法を和歌でまとめた「利休百首」に、「規矩作法守り尽くして 破るとも 離るるとても 本を忘るな」という歌を遺したのが始まりと伝えられています。師の教えを守り基礎を磨き、洗練させて独自の境地を切り開くとも、師に教わった基本を忘れてはならないという意味です。これは医学修行の道においても相通じる大切な心得で、食道学を研鑽する次世代の若手医師に紛れもなく伝承すべきと考えております。

今回は、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなどを企画し、更には医師のみならず医療従事者との連携によるチーム医療に関しても数多く取り上げていきたいと考えております。是非とも医療に携わる多くの方にご参加いただき、本学会から新たな情報を発信できるようにお願い申し上げます。

ける次第であります。またご来駕いただく会員の先生方にご満足いただけるような実りのある有意義な学術集会にしたいと考えております。現在鋭意準備していく所存であります。会員の皆様のご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げますとともに、多くの皆様のご参集を衷心よりお願い申し上げます。



第71回日本胸部外科学会定期学術集会

Scientific Creativity

会期：2018年(平成30年)10月3日(水)～6日(土)

会場：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1

会長：荒井 裕国

東京医科歯科大学大学院・医歯学総合研究科 心臓血管外科学 教授

URL：http://www.congre.co.jp/jats71/

※演題募集期間は終了いたしました。
多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

Postgraduate Course (予定)：

心臓血管外科コース	呼吸器外科コース	食道外科コース
10月3日(水)・10月6日(土)	10月3日(水)	10月6日(土)

主要プログラム：

- ①合同シンポジウム、②Techno-Academy、③シンポジウム、④パネルディスカッション、⑤Surgical Colosseum、⑥クリニカルビデオセッション、⑦一般演題 (Featured Abstractセッション、口演、Rapid Response、ポスター)

主催事務局：東京医科歯科大学大学院・医歯学総合研究科 心臓血管外科学
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

運営事務局：株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1弘済会館ビル
TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552 E-mail：jats71@congre.co.jp



お知らせ

日本胸部外科学会 オリジナルネクタイ販売

JATSオリジナルネクタイは、28年前、第43回末代会長がお作りになりましたが、第68回大会長がデザインを刷新し作成されました。

この度、限定300本を販売しております。
深みのある紺地に赤・緑・黄のストライプと心・肺・食をイメージしたロゴマークが施されたデザインとなっております。
会員の皆様、学術集会参加の際などに是非お一ついかがでしょうか！

ご購入手続き 1本…¥3,600 (ネクタイ…¥3,240 (税込) + レターパック…¥360)

なお、複数本ご購入の場合は、送料変更の為、ご入金前に一度事務局にご連絡願います。

振込額：1本 ¥3,600 (ネクタイ…¥3,240 (税込) + レターパック…¥360)

口座：みずほ銀行 飯田橋支店
普通預金 2288186

名義：特定非営利活動法人日本胸部外科学会 (トクヒ) ニホンキョウブゲカガックイ
※振込人名を必ず入力

宛先：jats-adm@umin.ac.jp (ネクタイ販売窓口)

件名：JATSネクタイ購入希望・入金完了

本文：会員番号 T

氏名 ※必ず明記

発送先 ※学会登録の住所以外に送付する場合のみ記載

発送は『代金のお振込み』と『事務局へのメール』が共に確認できてからになります。



編集後記

かつてないほどの寒波が日本列島を襲い、富山、北海道など各地で豪雪による甚大な被害が報道された。平昌オリンピック、パラリンピックへ向かった報道陣も寒波に震えあがったそうである。3月に入ると打って変わって日本全国春色となり各地の桜開花宣言が例年よりも1週間も早まり、この編集後記を書いている今週末4月6日まで晴天が続く、全国で満開の桜が楽しめるようである。

JUST NOW JATS 44は学会誌GTCSがついにIFを獲得したという嬉しいニュースから始まる。Clarivate Analytics社(旧Thomson Reuters社)から2016年からScience Citation Index ExpandというデータベースにGTCSがIndexされると通知があった。大北理事長

が編集委員長を兼務して率先して努力を続けられた賜物である。会員の皆様にはより高いIF獲得を目指して、今後も原著論文Reviewなどの投稿、GTCS論文(ただし2016年以降のもの)の引用をお願いしたい。

2020年の評議員選挙からGTCS投稿歴とアンケート回答が必須条件となる。日本胸部外科女性医師の会からは会の報告と女性外科医の声、「女性医師サイトニュースのお知らせ」、サマースクールの告知と続く。理事会ニュースのあと、第71回日本胸部外科学会学術集会の公告、4月から福島県立医大教授にご就任された加藤広行会長から第72回日本食道学会の案内が掲載されている。 広報委員会副委員長 丹黒 章

日本胸部外科学会 NEWSLETTER

JUST NOW JATS

No.44
2018年5月10日発行

発行◎特定非営利活動法人 日本胸部外科学会
〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-27 テラル後楽ビル 1F
TEL◎03-3812-4253 FAX◎03-3816-4560
URL◎http://www.jpats.org/

編集◎日本胸部外科学会 広報委員会
E-mail◎jats-adm@umin.ac.jp

デザイン・制作◎株式会社 杏林舎